

成長可能性に 関する説明資料

2015年3月
株式会社sMedio
(東証マザーズ:3913)



1. 企業の概要

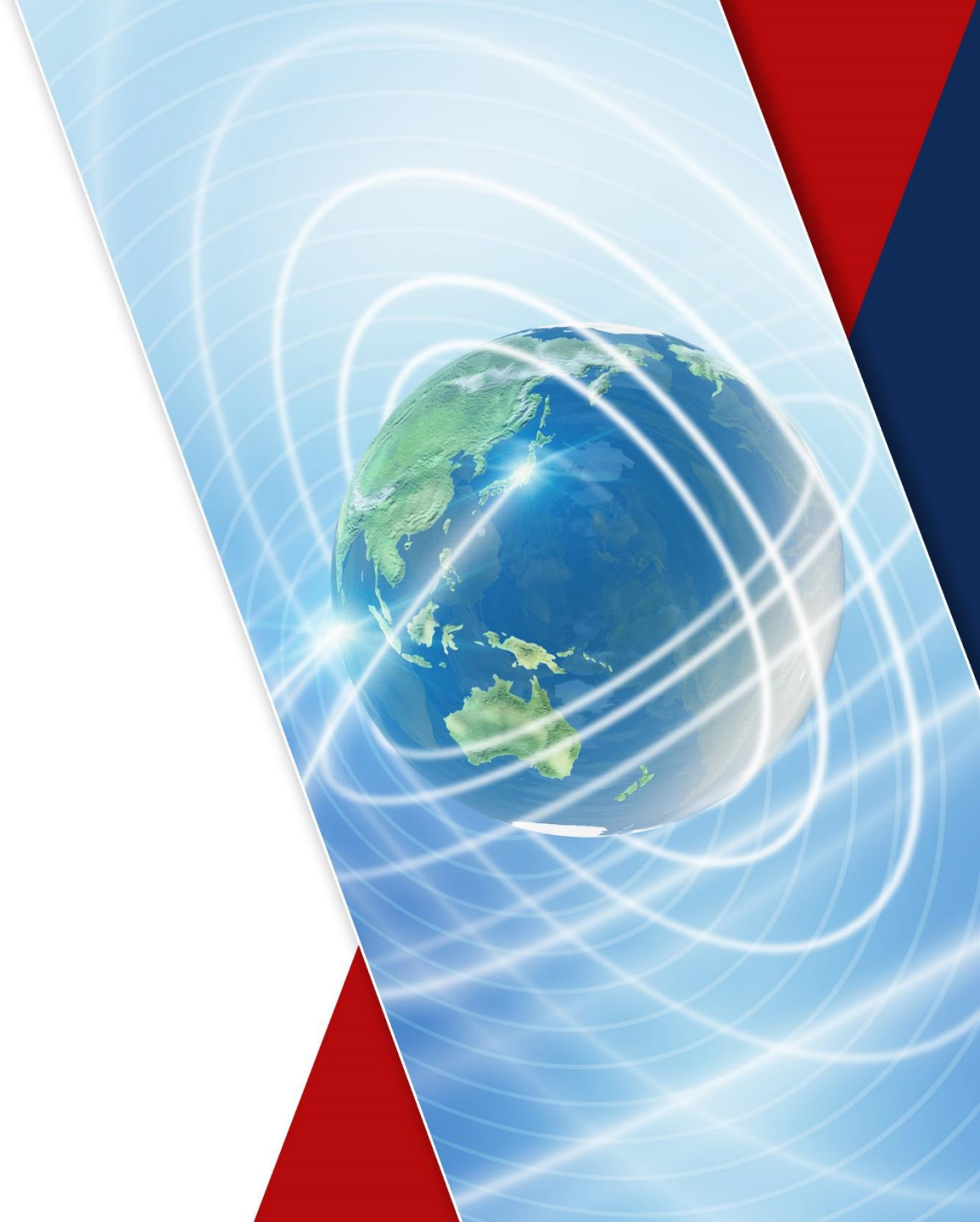
2. 製品紹介

3. 市場環境

4. 当社の強み

5. 今後の成長戦略

企業の概要



社 名	株式会社sMedio
所 在 地	東京都中央区日本橋本町1-9-4 Daiwa日本橋本町ビル 10階
開 発 拠 点	中国:上海(100%子会社) 台湾:台北(支店)
設 立 年 月 日	平成19年3月16日
代 表 者	田中 俊輔
資 本 金	405,348千円
従 業 員 数	社員数(役員を含む)55名(100%子会社含む、契約社員は含まない:2015年1月末時点)
主要外部株式	株式会社ジャフコ ニッセイ・キャピタル株式会社 野村リサーチ・アンド・アドバイザリー株式会社 モバイル・インターネットキャピタル株式会社
監 査 法 人	新日本有限責任監査法人(E&Y)
主 な 取 引 先	株式会社東芝、シャープ株式会社、富士通株式会社、Hewlett-Packard Company、Acer Incorporated、 パイオニア株式会社、KDDI株式会社、Microsoft Corp.、ソフトバンクモバイル株式会社

日本のソフトウェア業界が国内の下請け産業化している現状に疑問をいただき、世界市場で通用するソフトウェア専門企業を日本に創業したいと起業しました。グローバルスタンダードに準拠した“開発はアジアで市場は世界へ”のコンセプトでアジアを代表するソフトウェア企業をめざしています。

企業理念

1. 顧客中心主義

顧客満足度の高い製品とサービスを最優先とする

2. スピード重視

企業競争の源泉としてのスピードを重視する

3. 徹底した品質の追求

妥協しない品質の徹底

4. 情報管理と情報開示

お客様の情報と個人情報には管理徹底。当社内部情報は適正に開示する

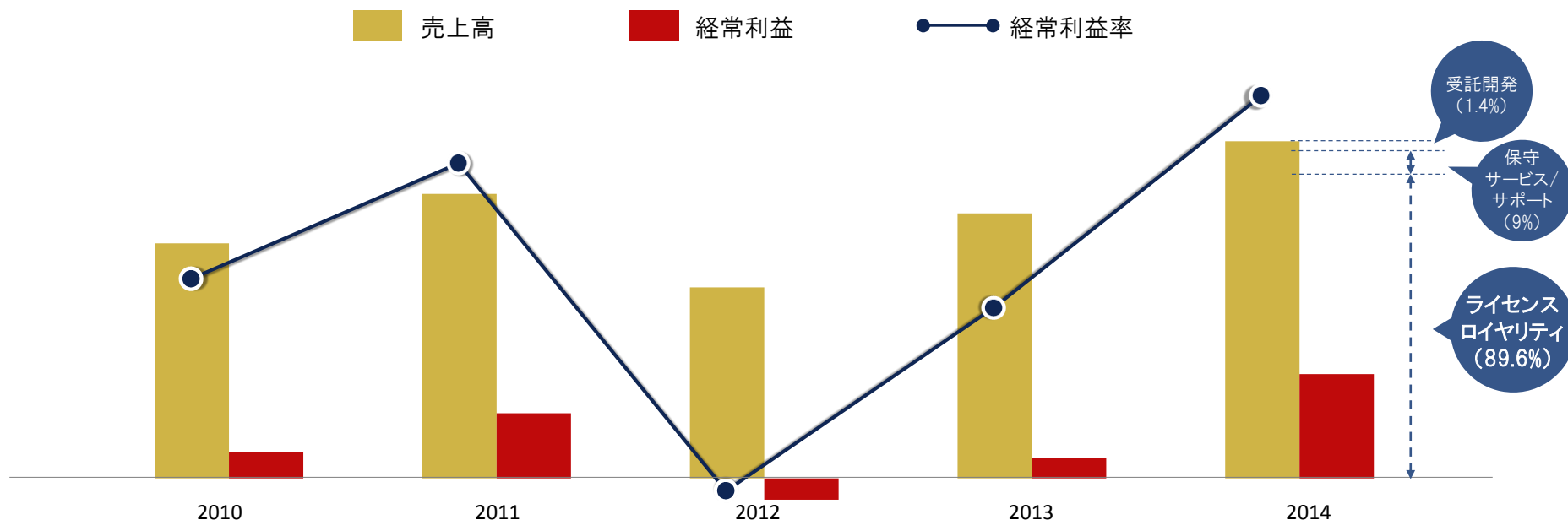
5. 法令遵守

コミュニティの一員として法令を遵守し、高い企業理念を目指す

ミッション

日本およびアジアのコミュニティの一員として、個の融和によるチームワークを重視した企業活動を永続します。

2014年迄の年間売上、経常利益および利益率の推移



(単位:百万円)	連結				
	2010	2011	2012	2013	2014
売上高	683	826	555	770	979
経常利益又は経常損失(△)	77	189	△62	59	303
経常利益率	11%	23%	-	8%	30%

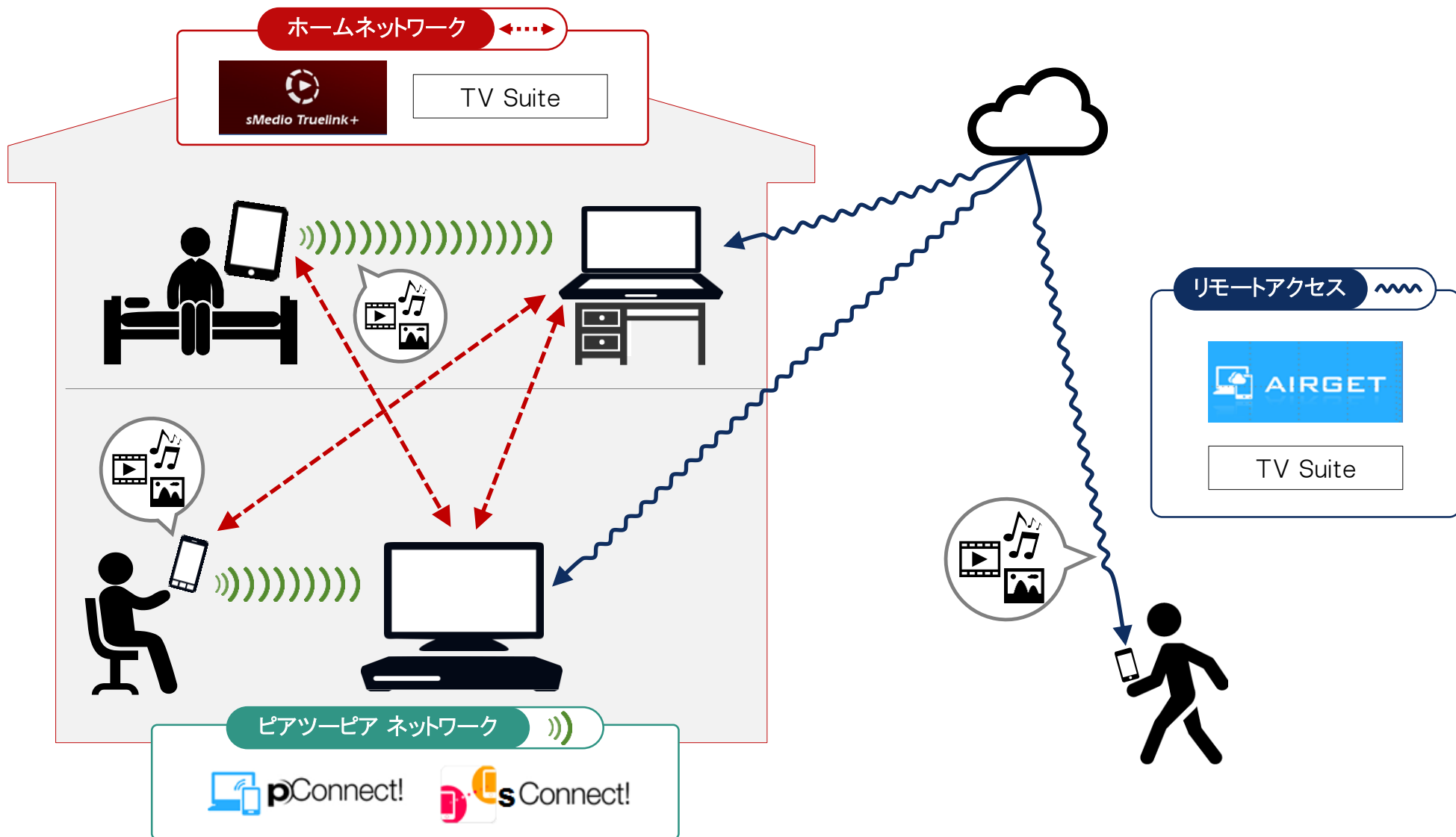
2011年まで二桁成長を持続したデジタル家電/ブルーレイ機器市場は2012年に対前年比60%以上出荷台数が下落した。2013年はスマートデバイス向けWireless ConnectivityソフトウェアでV字回復し再び成長軌道にのっている。2014年は対前年比売上高+27%、経常利益+413%の増加で最高売上、最高益となった。

注1: 2010年・2011年の連結業績については、金融商品取引法の規定に基づく監査を受けておりません

製品紹介

sMedio







sMedio Truelink+

PCやタブレット向けのネットワーク・メディアプレイヤー。
家庭内のネットワークでTVやPC・スマートフォンと連携、
ビデオ・音楽・写真の再生やアップロード・ダウンロードが行えます。



- 1 Windows 8.1・Android向け
TVプレイヤー
- 2 NFCを利用したスマートフォン連携
- 3 クラウド上のコンテンツの再生、
アップロード/ダウンロード
- 4 タッチ操作向けに最適化された
ユーザー・エクスペリエンス
- 5 “ハイレゾ”オーディオ対応版提供予定

ブルーレイレコーダーのTV番組を再生できるTVプレイヤー・アプリ。
録画済み番組の再生、ムーブ、受信中のTVのライブ再生が行えます。



1 Windows 8.1・Android向け
TVプレイヤー

2 地デジ・CS・BSデジタル放送に対応

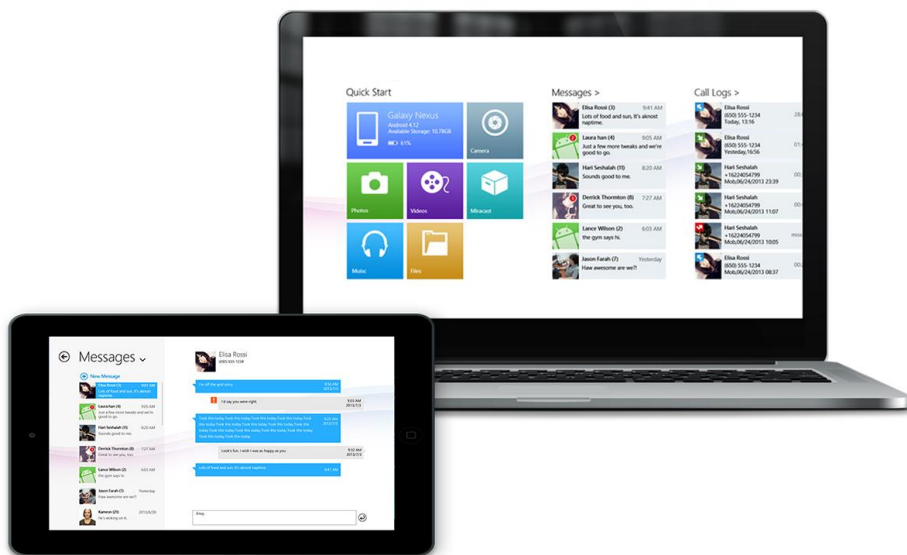
3 ブルーレイレコーダーからの番組を
PCへムーブ・コピー、外出先で鑑賞

4 国内主要メーカーのブルーレイレコーダーに対応、
実機での動作検証済み

5 外出先からのリモート視聴対応版も提供予定



スマートフォンをケーブル接続なしでPCから操作できるユーティリティ・アプリ。
メディア・ファイルの操作/再生、
連絡先の編集やメッセージの送信がPCから行えます。



- 1 Android2.3以降の幅広いスマートフォンに対応
- 2 キーボードやマウスでスマートフォンを操作
- 3 Wi-Fi/Wi-Fi Directによりケーブルなしでスマートフォンと接続
- 4 コンテンツの多い環境でも高い表示・操作パフォーマンスを実現
- 5 iPhone版も提供予定



Miracastを利用したスクリーンとコンテンツの共有ソリューション。
AndroidスマートフォンとMiracast対応TVやスマートフォン、タブレットでアプリの画面や操作、写真や音楽、動画の再生が行えます。



- 1 コンテンツを選択的に共有
- 2 受信側のスマートフォンからもアプリの画面を共有、操作
- 3 近くのMiracast機器を検出
受信機への接続を簡単に
- 4 共有中のアプリをバックグラウンドへ移行、別のアプリが利用可能



クラウドベースでリモート・メディア・アクセスを提供するサービス。
自宅のPCのコンテンツに外出先のスマートフォンやタブレットからコンテンツの
閲覧や再生、撮影した写真の自動アップロードが行えます。

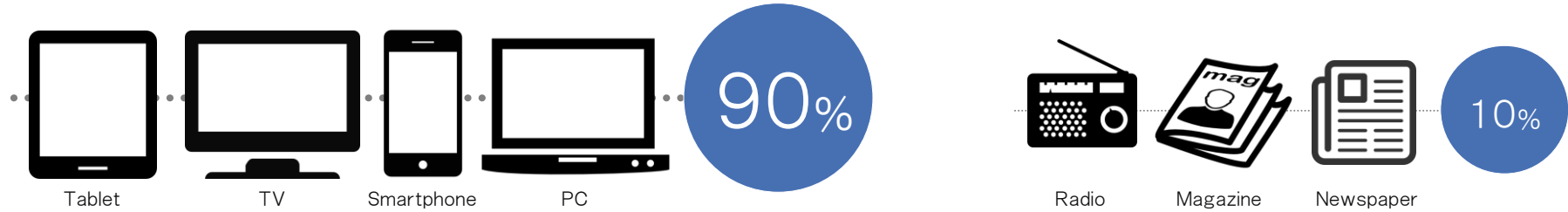


- 1 複雑な設定のいらない
一般ユーザー向けリモート・アクセス・サービス
- 2 PCの写真や動画・音楽を
スマートフォンでサムネイル表示
- 3 スマートフォンで撮影した写真を
自動的にPCへアップロード
- 4 スリープ状態のPCを起動
コンテンツにアクセス

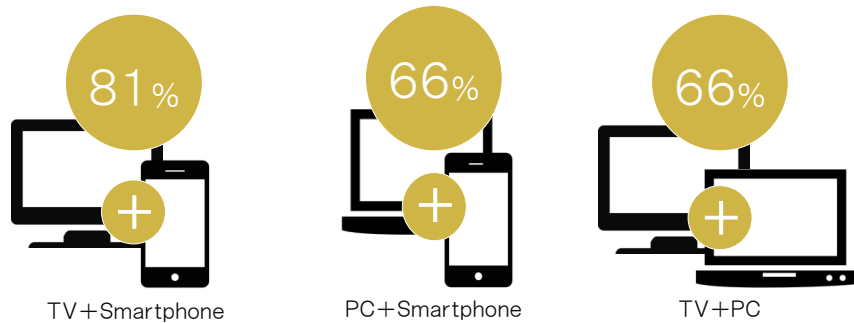
市場環境の見通し



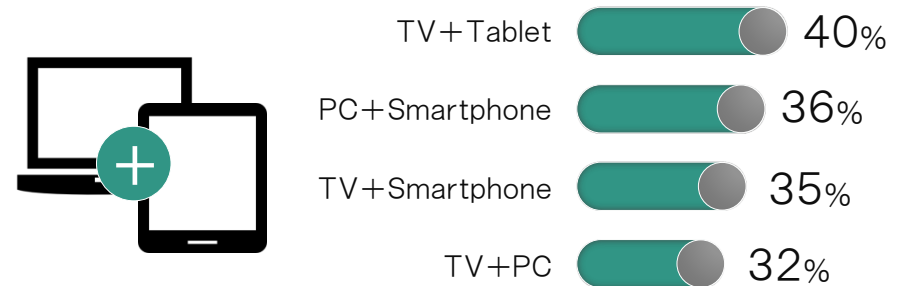
Wireless Connectivity普及の背景は、
消費者のマルチスクリーン化による情報取得・共有・管理形態の変化(米国市場)



ユーザーは情報取得の**90%**をDisplay Panel上で行ない、毎日平均**4.4時間**を費やしている



ユーザーは毎日**3台**以上のデバイスを用いて
情報を取得している

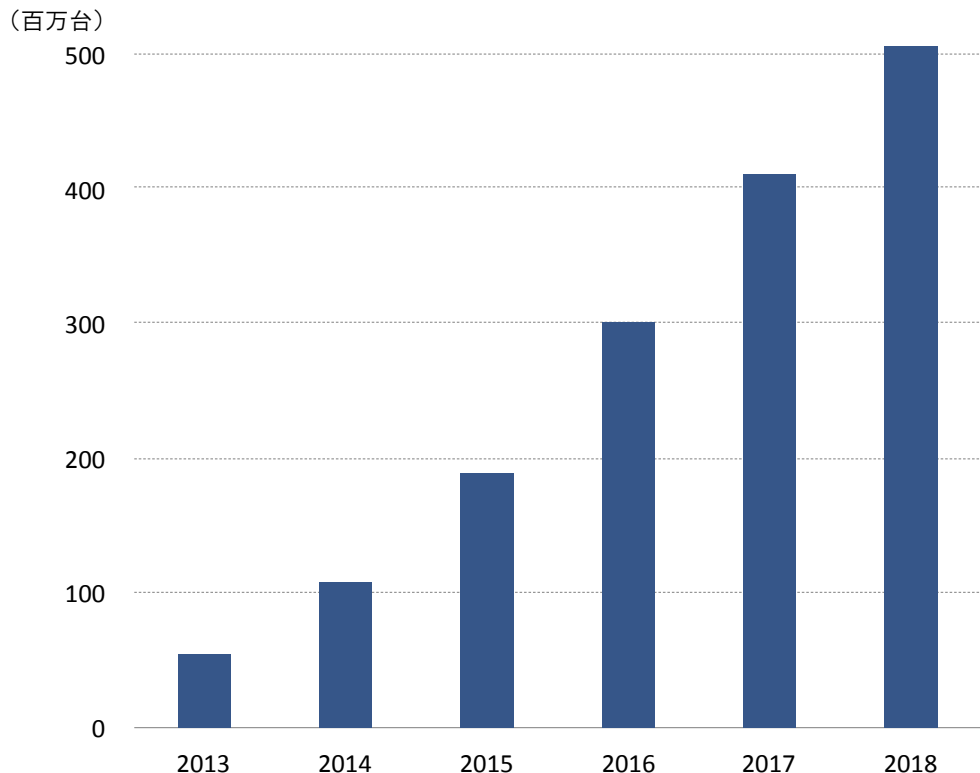


複数台のデバイスを同時に利用して
情報取得する割合は**22%**

出典: Google, The New Multi-screen World :Understanding Cross-platform Consumer Behavior, Aug. 2012

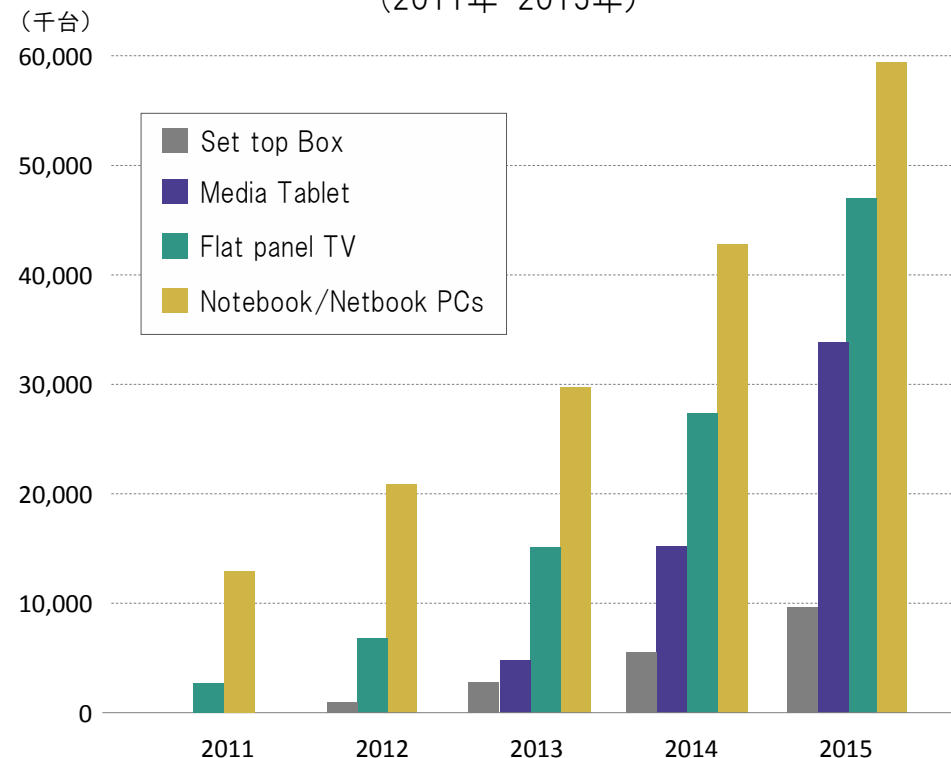
Wireless Connectivityの可能性

ワイヤレスコネクティビティ搭載製品の販売台数推移



出典: HIS High-Speed Wireless Devices to Surge in Shipments, Dec 11th, 2013

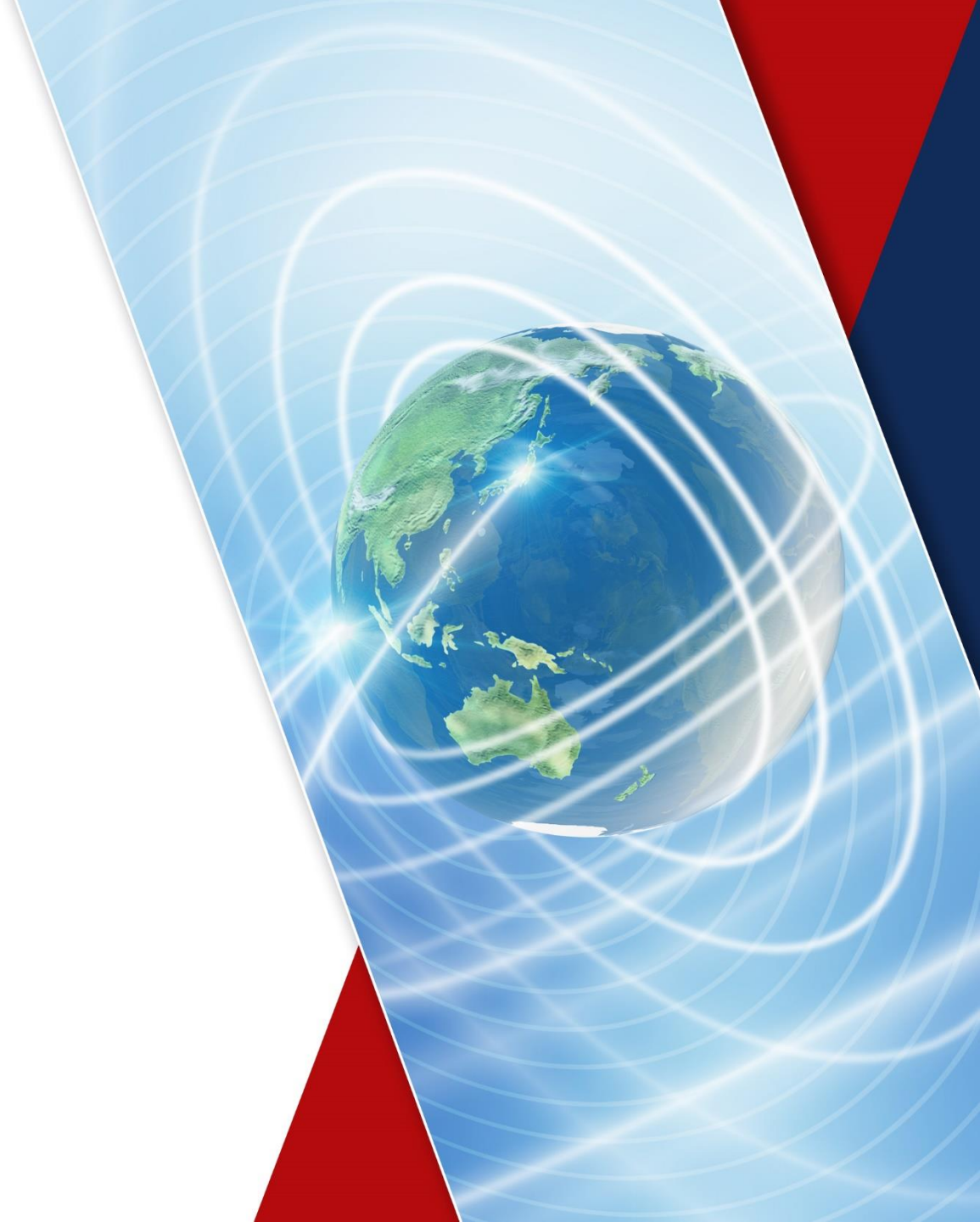
製品カテゴリー別機器の販売台数推移
(2011年-2015年)



出典: iSuppli "Display Electronics 2011 Topical Report"

Wireless Connectivity市場は年率59.3%の急成長市場。
スマートデバイスとのWireless ConnectivityはPC、TVの市場に対しても装着が急拡大で進行する。

当社の強み



Wireless Connectivity製品を開発・製品化するための全ての要素技術を習得しており、マルチOS・マルチデバイスに対応できるのがsMedioの強みであり、先端的な製品開発の源泉となっている




Media処理技術

ビデオ Decoder, Transcoder
(HD H264, MPEG2/4等)
Media Framework
(Filter, Navigation, Container等)



無線通信技術

Wi-Fi, NAT traversal
Wi-Fi Direct, WiDi
Miracast,
NFC、Bluetooth 等



著作権保護 / 認証技術

DTCP-IP, DTCP+
AACs, BD+, CPRM
HDCP
暗号化、Security Framework 等

近接接続(コンタクトレスワイヤレス:NFC)から、遠隔接続(リモートアクセス:Internet)まで Wireless Connectivityの要素技術を有して製品化し多様化するユーザーニーズに応えます
今後特に成長し当社が注力する分野は図中のピアツーピアネットワークおよびホームネットワークのエリアと考えております

当社製品

採用した業界仕様

sMedio Truelink+

NFC ロゴ

コンタクトレス
ワイヤレス

pConnect!
sConnect!

Wi-Fi CERTIFIED
Miracast™
Wi-Fi Alliance ロゴ ミラキャスト ロゴ

ピアツーピア
ネットワーク

sMedio Truelink+

Wi-Fi CERTIFIED
Wi-Fi Alliance ロゴ

ホームネットワーク

AIRGET
sMedio Truelink+

NexTV-F
- 株式会社個人次世代放送推進フェーラム

NexTV-F ロゴ

リモートアクセス

近接接続 ←

→ 遠隔接続

本社

東京

顧客所在地

東京・長野・金沢

中国



開発拠点

上海

顧客所在地

深セン・北京

台湾



開発拠点

台北

顧客所在地

台北

米国



マーケティング拠点

サンホセ
(カリフォルニア)

顧客所在地

シアトル・ヒューストン
フィラデルフィア・ボストン

カナダ



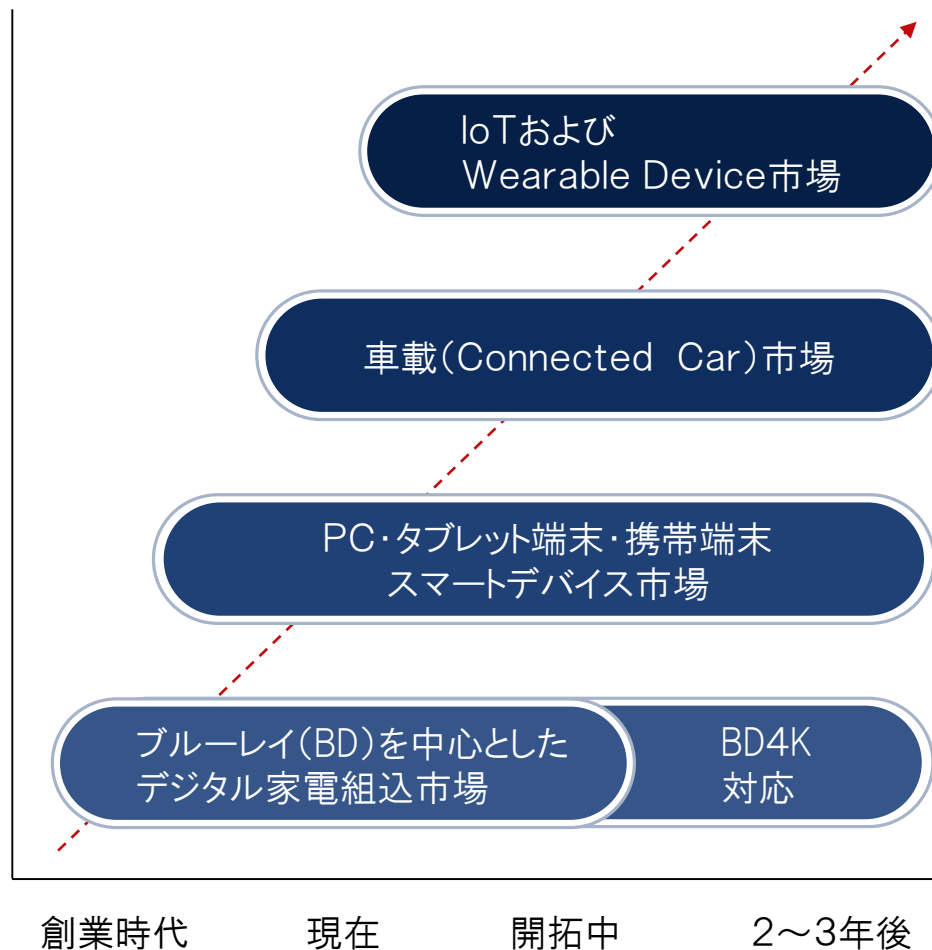
顧客所在地

オタワ

今後の成長戦略



顧客層



収益モデル

